

福岡環境学際フォーラムのご紹介

Fukuoka Interdisciplinary Forum for Environmental Problems

同フォーラム 運営代表

(西南学院大学経済学部)

小出秀雄

2014年4月16日

～2011年4月1日に発足～

福岡を拠点とする、専門・所属を超えた環境問題の勉強の場です。

福岡環境学際フォーラム

本フォーラムに関するお問い合わせは、お気軽に
mail@fukuokagakusai.com

→ トップページ
TOP PAGE

→ 趣旨・運営メンバー
AIMS & CORE MEMBERS

→ 定例研究会
MEETINGS

→ 関連事業
SIDE EVENTS

→ 関連リンク
LINKS



WELCOME TO OUR
COMMUNITY IN THE WEST!!

福岡環境学際フォーラム
Fukuoka Interdisciplinary
Forum for Environmental
Problems (FIFEP)

運営代表：小出秀雄（西南
学院大学経済学部）

このたびはご訪問いただき、まことにありがとうございます。

こちらは、福岡環境学際フォーラムのホームページです。

本フォーラムは、福岡市内の大学に所属する環境問題の研究者有志を中心に、文系理系、産官学民といった既存の枠組みを意識せずに勉強し、議論する場です。

ご関心のある方々の、定例研究会や各種イベント、メーリングリスト、Facebookページへのご参加をお待ちしております。

Thank you for your visiting a homepage of Fukuoka Interdisciplinary Forum for Environmental Problems, FIFEP in short.

フォーラムの趣旨 (2014年4月現在)

- ① 福岡を拠点に、九州・近隣諸国における環境問題の学際的検討と政策提案
- ② 特に、問題解決のために都市間連携、広域連携、国際連携を必要とする分野に着目
- ③ 3カ月に1回程度、フォーラム主催の研究会および懇親会を開催（西南学院大学近辺）
- ④ ネット（[HP](#), [Blog](#), [Facebook](#), [ML](#)）を利用した活動記録や関連情報の公開、意見交換、共同研究・助成事業の相談など



フォーラムの運営メンバー (2014年4月現在)

岡 重男 : 公益社団法人福岡県産業廃棄物協会

【専 門】 廃棄物工学

勢一智子 : 西南学院大学法学部

【専 門】 行政法、環境法

鄭 雨宗 : 福岡工業大学社会環境学部

【専 門】 環境経済学、地球温暖化政策

中山裕文 : 九州大学工学研究院

【専 門】 環境システム工学、廃棄物工学

松田晋太郎 : 環境テクノス株式会社、合同会社ひびくー

【専 門】 廃棄物管理、バイオマス利活用

渡邊智明 : 九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター

【専 門】 国際政治・政治学、環境政治



フォーラムM Lの登録者の所属

【大 学】 鹿児島大学、九州産業大学、九州大学、下関市立大学、西南学院大学、西武文理大学、中京大学、東海大学、東北大学(元)、徳島大学、富山大学(元)、福岡女子大学、福岡工業大学、福岡大学、北海学園大学、山口大学

【研究機関】 (財)国際東アジア研究センター

【行 政】 福岡県環境部、福岡市環境局

【社団法人】 (一社)資源循環ネットワーク、(公社)福岡県産業廃棄物協会

【企 業】 (株)エコテック、環境テクノス(株)、西部ガス(株)、西日本技術開発(株)

【N P O】 再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本ほか



※2014年4月現在、五十音順

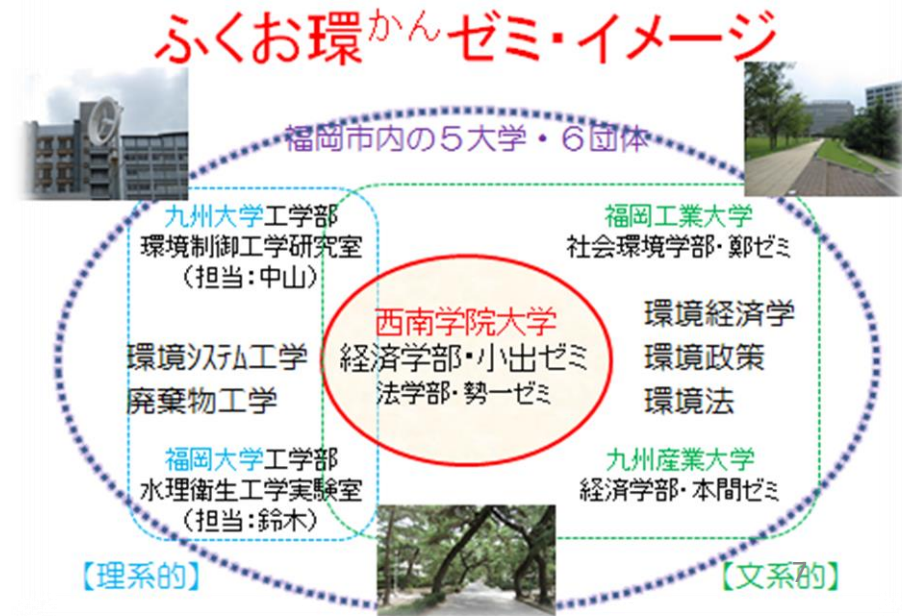
フォーラムの活動実績（1）：2011年度

- 研究会 4回：5/21, 7/16, 10/1, 12/10
- 企画・後援：
7/8 西南学院大学 映写会&講演会「環境モデル都市・北九州市の取り組みを学ぶ」
- 企画・開催：
8/22～23 「大学生向け環境修学旅行@北九州」
- 企画・共催：
2/22 西南学院大学 環境学際交流会（公開講座）
「福岡・九州で提起する持続可能な社会」



フォーラムの活動実績（2）：2012年度

- 研究会4回：4/28, 7/14, 10/27, 1/26
- 後援（3カ年）：
西南学院大学教育インキュベートプログラム：
福岡超大学環境ゼミナール～「ふくお環かんゼミ」で創る学生の環わ～



フォーラムの活動実績（3）：2013年度

- 研究会 3回：4/13, 9/28, 12/21
- 後援（継続）：福岡超大学環境ゼミナール
～「ふくお環かんゼミ」で創る学生の環わ～
- エフコープ環境助成事業（1カ年）：
「ふくお環かんたび」（コンテスト）事業



大学生がチームで企画し実行する「ふくお環かんたび」

西南学院大学 経済学部 教授 小出 秀雄

筆者は、2012年3月に東海大学で開催された協会・研修研究会に初めて参加したのを契機に、毎回関心を携って協議会の会合に参加している。同年8月末に本学で夏期研修研究会が開催されたときは、「大学関連携から生まれた“福岡環境学際フォーラム”とその取り組み」というタイトルで、特別講演をさせていだいた。

福岡環境学際フォーラムは2013年度、大学生が3人でチームを結成して一定の条件を満たした「エコ」な日帰り旅行を企画する、「ふくお環かんたび」(コンテスト)事業に携わっている。これは、エコフープ生活協同組合から助成金をいただいている環境関連事業であり、大学生の「社会人基礎力」(経済産業省提唱)を養う教育プロジェクトである。

以下では、この「ふくお環かんたび」事業の概要を紹介する。なお、詳細については、本事業のホームページ<<http://fukuokgakusai.com/tabi/>>をご覧ください。

まず、2013年6月7日に西南学院大学で開催した「ふくお環かんたび」コンテストでは、応募対象を福岡県内の大学生、3人1組のチームとし、以下の審査基準をあらかじめ明示して、企画募集を行った。

- (1) たびの中に、「エコ」な視点を5つ以上盛り込んでいるか。
 - (2) 地域の人と接するところを、1つ以上盛り込んでいるか。
 - (3) 下記のたびのスタート地点とゴール地点の設定、時間と範囲、旅費の条件を遵守しているか。
- ◆たびのスタート地点は、チーム3人のいずれかの住所の最寄りの駅またはバス停とし、ゴール地点はスタート地点と同一とする。
 - ◆たびは、午前7時00分以降にスタート地点を出発し、当日午後7時00分までにゴール地点(=スタート地点)に到着する。
- また、目的地は基本的に福岡県内とするが、「エコ」な根拠があれば、少し飛び出してもOK。【例：筑紫野市→佐賀県基山町で自然

を満喫→鳥橋市→久留米市】

◆旅費は1人当たり3,000円以内とし、交通費(運賃)のほか、施設等の入場料、何か借りたときのレンタル料、飲食代、お土産代などを含む。

(4) たびの内容に、福岡ならではの地域性、学生ならではの自由な発想が見られるか。

このコンテストには、西南学院大学および福岡工業大学の8つのチームが出場し、審査委員3名(民間企業2名、NPO1名)による厳正な審査の結果、優秀企画賞3チーム、特別賞2チームを決定した。

学生が苦心して企画した「ふくお環かんたび」は、このコンテストで終わるのではなかった。2013年11月22日に再び西南学院大学にて、「ふくお環かんたび」グランプリ決定戦を開催した。

この決定戦までに、先のコンテストで受賞した5チームは、自分たちが企画したたびを「ツアー」として実行した。企画者の旅費は、助成金から前もって支給した。各チームが企画実施報告を行い、今回は審査委員を設けず、会場出席者による投票に基づいて、グランプリ1チームを決定した。

最多得票により見事グランプリに輝いたのは、西南学院大学の経済学部・法学部の3年女子チームである。図は、6月7日のコンテストで配布された、三つ折り製の「たびのしおり」である。また、写真は、11月22日のグランプリ決定戦での表情と、グランプリの表彰状である。「たびのしおり」は決定戦でも配布されたが、修正はまったくなかった。当初より完成度が高かった証である。

福岡県内の大学生に呼びかけたにも関わらず、結局2大学しか参加しなかったという課題は残った。とはいえ、筆者の所属する経済学部だけでなく、法学部、文学部、社会環境学部(文系)といった、多様な専門分野の学生が参加してくれた意義はとても大きい。さあ環境保全に取り組もう、と言っても学生はなかなか乗ってこないが、「エコ」な日帰り旅行を考えよう、と言うと楽しく相談し始める。

さらに収穫だったのは、このコンテストをきっかけ



図 グランプリのチームが作成した「たびのしおり」

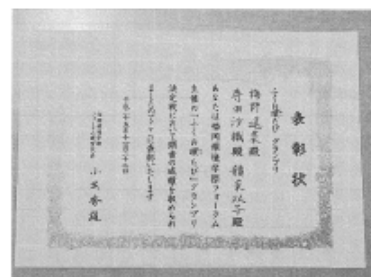


写真 グランプリのチームと表彰状

に、学生が環境問題に関心を持ってくれたことである。グランプリを獲得したチームの代表者は経済学部だが、筆者のゼミ生ではない。筆者の「環境政策」という講義を受講していて、サークルの友達とこのコンテストに応募した。彼女は表彰式のあと、今回の経験で環境についてとても関心を持つようになった、と語っていた。

「ふくお環かんたび」事業の紹介はこれで終わるが、この事業を含めた現在進行中の教育プロジェクトである「福岡超大学環境ゼミナール」については、拙稿「「ふくお環かんたび」の超大学イベントの実施状況」(『西南学院大学経済学論集』第48巻第3・4号)を参照されたい。[※筆者にメール<koida@seinan-gu.ac.jp>をくだされば、抜き刷りを郵送いたします。]

本協議会のグループ討議の場で、実践的環境教育の成功事例や課題について話し合うことによって、毎回多くのことを学んでいる。

筆者たちが現在携わっているのは、環境問題の勉強

を媒介とした「社会に通用する」人材の育成であるが、実践的環境教育のグループ討議に出席している大学生と接すると、どの学生も明るく前向きで、しっかりした内容のことを話すのにもいつも感心する。

筆者はたまたま現在、福岡市と西南学院大学が協働する子育て支援施設「西南子どもプラザ」のプラザ長を務めているが、小さい子はみんな前向きで、失敗など恐れない。思うままに教らかすままに、どんどん新しい遊びに取り掛かる。

エネルギーに満ちた子どもたちの遊び場に通い、うつつむきがちな大学生をいかにして前に前に出てくるように仕向けるか、あれこれ思案する日々である。引き続き、本協議会のみならずさまざまな議論をさせていただければ、幸いである。

(私立大学環境保全協議会 2012年夏期研修研究会(世話人))

フォーラムの活動予定：2014年度

- 5/17 エフコープ環境助成金活動報告会
- 研究会 3回：（日程未定）
- 後援（継続）：福岡超大学環境ゼミナール～
「ふくお環かんゼミ」で創る学生の環わ～

■ 随時企画・申請



フォーラム主催の研究会実績（1）

	報告者	所属	報告タイトル
第1回 11/5/21	小出秀雄	西南学院大学経済学部	大学間連携から“福岡環境学際フォーラム”への道程 グッズとバズズの連続性を考慮した意思決定モデル
	松岡浩史	資源循環ネットワーク	国際資源循環の適正化に向けたトレーサビリティ認証サービス
第2回 11/7/16	鈴木慎也	福岡大学工学部	費用負担の有無がペットボトルのリサイクル行動に与える影響
	本間 聡	九州産業大学経済学部	Did International Trade Become Dirtier for Developing Countries?
第3回 11/10/1	中山裕文	九州大学工学研究院	中国の都市における経済発展と市街地拡大に関する一考察
	松田晋太郎	環境テクノス株式会社	容器包装プラスチックリサイクルの高付加価値化に向けた取り組み
第4回 11/12/10	鄭 雨宗	福岡工業大学 社会環境学部	中国瀋陽におけるCDM植林プロジェクトの現状
	山重芳子	成城大学経済学部	循環資源貿易と輸出税
第5回 12/4/28	渡邊智明	九州大学法学研究院	WEEE指令の概要と最近の動向
	岡 重男	福岡県産業廃棄物協会	資源循環・アジア展開時代における福岡県の産業廃棄物処理業 のビジョン・戦略・戦術
第6回 12/7/14	中山裕文	九州大学工学研究院	タイ洪水に伴い発生した水害廃棄物処理の現状と課題
	成 元哲	中京大学現代社会学部	水俣から福島へ：社会疫学からのアプローチ

フォーラム主催の研究会実績（2）

	報告者	所属	報告タイトル
第7回 12/10/27	牛島佳代	福岡大学医学部 衛生・公衆衛生学教室	有害物質曝露による健康影響に関する疫学研究
	岡 優子	再生可能エネルギー推進 市民フォーラム西日本	市民共同おひさま発電所 ～エネルギーとお金の地域循環を目指して～
第8回 13/1/26	嶋田大作	福岡女子大学 国際文理学部	地域コミュニティを核とした重層的資源管理： 半自然草原の管理と利用を事例に
	野村久子	九州大学農学研究院	表明された支払意思額は実際に支払われるか —歴史的農業構築物保全のための社会実験—
第9回 13/4/13	岡 重男	福岡県産業廃棄物協会	「ふくお環かんたび」コンテストの趣旨説明
	近藤政一	ジャパン九州ツーリス ト株式会社	旅行のプロから見た魅力ある「たび」企画→自由討論会
第10回 13/9/28	柴田思惟 山元勇人	鹿児島大学法文学部 (大前ゼミ)	市民参加型生ごみアップサイクルモデル ～ネットワーク型ソーシャルビジネスとしての展開～
	藤本穰彦	九州大学工学研究院	地域の社会問題を自然エネルギーで解決する —日本-インドネシアの小水力発電—
第11回 13/12/21	阿部 新	山口大学教育学部	自動車静脈産業の海外展開の類型化とその特徴
	桑原順子	福岡工業大学工学部	最近のリケジョにまつわるエトセトラ —理工学系女子の動向を中心に—

フォーラムの活動に関する情報

- ホームページ版 : <http://fukuokagakusai.com/>
- ブログ版 : <http://fukuokagakusai.seesaa.net/>
- Facebook : <https://www.facebook.com/fukuokagakusai>
- Mailing List : <http://www.mlist.ne.jp/usr/fukuokagakusai/>
- 小出秀雄、「福岡環境学際フォーラムの2011年度の活動」、『西南学院大学経済学論集』（西南学院大学学術研究所）第46巻第3・4合併号、2012年3月、195-216頁。
- 小出秀雄、「大学間連携から生まれた“福岡環境学際フォーラム”とその取り組み」、『私立大学環境保全協議会会誌』第16号、2013年6月、8-11頁。
- 小出秀雄、「大学生がチームで企画し実行する「ふくお環かんたび」」、『私立大学環境保全協議会 30周年記念誌』（会誌第19号）、2014年3月、48-49頁。

～お問い合わせ先～

〒814-8511

福岡市早良区西新6-2-92 西南学院大学内
福岡環境学際フォーラム

担当：小出秀雄(Hideo Koide)

koide@seinan-gu.ac.jp

TEL:092-823-4318(直通)